

( 家庭 ) 科 ( 服飾文化 ) シラバス		2 単位	普通科 第 3 学年 A 群 選択者
年間の到達目標		浴衣の製作を通して服飾文化に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、着装の方法を体験的に学習し、服飾文化の伝承と創造に寄与する能力と態度を育てます。	
教科書・副教材等		「被服製作」(実教)	
学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
4	5	オリエンテーション 1. 手縫いの基礎 ア 並み縫い 返し縫い くけ縫い	手縫いの基礎をしっかりと身につけるために、実習を通して、その技術を学びます。  浴衣の製作を始めます。裁断など、一番まちがしやすい所なので、細心の注意をもって、実習に臨みます。
		2. 浴衣の製作 ア 裁断 イ するしつけ	
中間考査範囲			
6	7	ウ 背縫い エ 脇縫い オ おくみつけ カ 肩当てつけ	被服構成の基礎的な知識と技術を習得していきます。
期末考査範囲			
〔備考〕 考査と普段の学習活動および実習への取り組み態度から総合的に評価します。			
9	10	キ えりつけ ク かけえりつけ ケ 袖縫い	曲線部をていねいにしっかりと縫いつける技術を身につけます。
中間考査範囲			
11	12	コ 袖つけ サ すそくけ シ 仕上げ	各部をしっかりと丈夫に縫いつける技術を身につけます。
期末考査範囲			
〔備考〕 考査と普段の学習活動および実習への取り組み態度から総合的に評価します。			
1	2	3. 和装の着装 ア 和装のマナー イ 和服の収納・補正	完成した浴衣を着付け講師の指導により着装します。着付けの技術を学び、起居動作やマナーを身につけます。  着付け講習会の終了後、浴衣の製作から講習会をふりかえって、服飾文化に関してレポートを書きます。
		ウ 着付け講習会	
学年末考査範囲			
〔備考〕 考査、普段の学習活動への取り組み態度から総合的に評価します。			
評価の観点	内 容		評 価 方 法
関心 意欲 態度	服飾文化に関心を持ち、意欲的・主体的な態度で学習活動に取り組むことができたか。		学習活動への参加の仕方や態度 出欠の状況 ポートフォリオ
思考 判断	現在の服飾文化と伝統的な服飾文化を比較し、その役割と必要性を判断することができたか。		レポート ポートフォリオ
技能 表現	必要な道具や用具を使い、伝統的な衣服を製作するとともに、着装する技術を身につけることができたか。		学習活動への参加の仕方や態度 提出作品
知識 理解	服飾文化の基礎的な知識や技術を理解し、伝統的な衣服の製作と着装の方法を理解することができたか。		小テスト レポート